

学校法人箕面学園 箕面学園附属幼稚園

平成28年度自己評価結果公表シート

1.本園の教育目標・重点

『健やかな体、豊かな心を持つ子どもの育成』

- ・幼稚園生活を通じて知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。
- ・何事も最後まで諦めずやりぬく子どもを育てる。
- ・仲間意識・自立心を持ち、仲間を思いやる気持ちを育てる。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園のあり方として、地域との交流を図り、地域に密着した開かれた幼稚園を目指すとともに、子ども一人一人の教育的ニーズに合わせた教育及び研修の充実を重点目標として取り組んだ。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
在園児について全教職員がその情報を共有して保育を行う。	日々の終礼、職員会議において、子どもの様子、状況、保護者の願いを伝え合い、課題を整理し、全教職員が情報共有・行動連携ができるよう努めた。
教育の質の向上のために、研修へ積極的に参加する。	箕面市公立幼稚園と連携した研修を実施。また、夏期休暇等を活用した研修会の内容・成果を、レポートにまとめ教職員間で共有を図った。また、外部講師を招いた授業研究会を実施し、指導力向上にも努めた。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	個人懇談及びクラス懇談を実施。子どもの様子や園としての考え方を保護者に伝える場となり、また保護者の思い、悩み、喜びなどを知る機会ともなった。保護者同士の意見交換も行われた。加えて、行事について後援会役員と反省会を定期的に行い連携の実を上げている。また、臨床心理士によるキンダーカウンセラーも実施し、必要に応じて、箕面市等関係機関と連絡を取り子ども理解、保護者支援の一助としている。

<p>ホームページや園だよりなどを通じて、園の情報発信に努める。</p>	<p>メール配信による警報発令時の対応を整備し、日々の連絡にも活用している。またホームページ更新を職員にて行い、行事や日々の子どもたちの様子を公開、また園だよりにも画像をカラー印刷し、その生き生きした姿を伝えることができた。</p>
<p>地域との交流を図り、地域に密着した幼稚園を目指す。</p>	<p>隣接する箕面学園福祉保育専門学校及び箕面学園高等学校との連携が拡大・深化しつつある。</p> <p>その他、箕面市・箕面市教育委員会・警察・消防等関係機関と連携した園活動・各種行事も増加。</p> <p>また、幼稚園行事(運動会・わくわくフェスタ)などの情報を公開し、地域の住民の方の参加をいただいた。しかしながら、園の前面道路への駐車の問題等、課題がある。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>箕面学園福祉保育専門学校と連携して幼稚園行事を行うだけでなく、子どもの姿を通じた反省会を通じて内実が深まっている。特別支援教育や子ども理解をはじめ取り組むべき課題について、全教職員が積極的に研修に参加し、共通理解を深め、実践し始めている。また、大阪府子育て施設木のぬくもり推進事業による保育室の床の張り替え工事や遊具の補修工事も実施。施設設備の点検・保守に加え毎月の避難訓練等により安全管理に努めている。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>行事の精選及び保育・教育内容の充実を図る。</p>	<p>新幼稚園教育要領対応を含め、外部講師を招いた、学年単位の授業研究会を行うなど、この課題については、より一層の努力を図りたい。</p>
<p>長時間保育</p>	<p>こども・子育て支援新制度対応に努めつつ、当面は従来通りの幼稚園で、来年度から11時間の長時間保育に取り組み、保護者ニーズに応える。</p>
<p>園に対する保護者の満足度の向上とニーズを把握する。</p>	<p>私学の独自性を十分に発揮しつつ、様々な機会において保護者と十分なコミュニケーションに努める。また、子ども・子育て支援新制度等丁寧な対応をしつつ、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認する。</p>

6. 財務状況

<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p>
